

1 学習指導の充実

(1) 成果と課題

① 学習規律の徹底

- ㊦「友達の意見や先生の話をしっかり聞いている。」・・・97%
- ㊦「学習用具の忘れ物がないように気をつけている。」・・・93%
- ㊧「あなたのお子さんは、最後まで話をしっかりと聞くことができる。」・・・78%
- ㊧「あなたのお子さんは、学習用具などの忘れ物がないよう気をつけている。」・・・84%

学習の基本となる学習規律について、今年度も、学習のための大切な約束として5項目に絞り、継続し指導している。児童の意識は、90%を超える高い評価であった。保護者の意識との差異がみられるので、今後も保護者に啓発しながら、協力して更なる向上に努めたい。

② 校内研修の充実と学力向上への取組

・学力調査の結果

	全国学力・学習調査結果（6年）		県基礎学力調査結果			
	国語	算数	社会(6年)	理科(6年)	国語(4年)	算数(4年)
本校	75.0	81.0	78.5	68.8	86.7	87.7
石川県	72.0	72.0	70.4	63.9	65.2	72.9
全国	63.8	66.6	市78.1	市68.3	市76.3	市81.1

・全国トップレベルの石川県（輪島市）平均をどの教科も超えてきている。

③ 読書活動の充実

- ㊦「朝読書以外でも、学校や家で読書をしている。」・・・80%
- ・児童が図書に親しむための活動（学級文庫の月毎の入れ替え、図書ボランティアによる読み聞かせ、家族読書ウィーク、ブックリストの取組、委員会活動など）により充実を図っていく。

(2) 今後の対策

- ・学習のための大切な約束5項目の徹底を図る取組を継続して行っていく。
- ・言葉、図、表、グラフなどを適切に用いて、根拠や理由を筋道立てて説明できる。（つなぐ話し合い）
- ・ペア、グループ学習活動を意図的に取り入れ、主体的な学びの実現をめざす。
- ・条件作文などを通して、書く経験値を上げていく。
- ・詩の暗唱に取り組む。
- ・家庭学習の充実を図るために、目標時間を設定して取り組ませる。
- ・家庭との連携により、生活規律の定着、家庭学習の習慣化がなされるよう協力を求める。

2 生徒指導の充実

(1) 成果と課題

① いじめを見逃さない体制の確立

- ・学校が楽しいという雰囲気づくりを醸成することが「いじめが起こりにくい環境づくり」につながると考えている。
- ㊦学校は、楽しい。・・・93%
- ㊧あなたのお子さんは、学校へ行くのが楽しいと言っている。・・・93%
- ・児童のなかよしアンケートを毎月、保護者のいじめアンケートを学期毎に実施し、早期発見、早期解決に向けて、組織的に取り組んでいる。

② 挨拶ができる子の育成

- ㊦「友達や先生、お客さんに自分から進んであいさつをしている。」・・・91%
- ㊧「あなたのお子さんは、進んであいさつができる。」・・・74%
- ・ここ3年間で大変良くなった。児童会を中心に「語先後礼」や「朝の挨拶運動」等の取組を継続して実施している。また、高等学校と連携した挨拶運動を今年度も継続して行った。

(2) 今後の対策

- ・いじめは、どの子にも起こりうるという認識で、児童や保護者を対象にいじめアンケートや面談を継続して行い、実態把握に努め迅速な対応を心がける。
- ・特に次の基本3項目について職員が共通理解、実践し、指導を徹底する。
 1. 明るく、あいさつと返事をする。
 2. 服装を整える。
 3. 下足箱の履き物をきれいに揃える。

3 豊かな心の育成

(1) 成果と課題

① のぞましい生活習慣と規範意識の育成（9月調査）

- ・学年に応じた就寝時刻を設定しているが、学年が上がるにつれ、就寝時刻が守られない傾向にある。
- ・学校全体で朝食をきちんと食べている児童が多い。1週間のうち1～2回欠食する児童がほんの少しだが見られる。
- ・テレビやゲームの時間が2時間以内の児童は、1年生が73.4%、2年生が79.6%、3年生が68.8%、4年生83.3%、5年生64.3%、6年生が70.4%となっている。

② 道徳の授業

- ・平成29・30年度県指定道徳推進校の指定を受け、道徳の研究に継続して取り組んできた、道徳版河井スタイルを継承して実践している。学校研究の1つである「つなぐ話し合い」を活かして、活発な話し合いが行われている。11月の授業参観ではゲストティーチャーを招いての全校一斉道徳を実施する。

(2) 今後の取組

- ・基本的な生活習慣がきちんと身につくよう家庭と連携し指導を継続する。
- ・これまでの研究の成果を継続し、更なる道徳教育の研修を深め、毎時間の授業の充実を図る。

4 健康・体力づくりの推進

(1) 成果と課題

① 自らの健康に関心を持ちその改善

㊦「夜、決められた時刻までに寝ている。（低学年午後9時半・高学年午後10時）」・・・72%

㊦「あなたのお子さんは、早寝早起きができる。」・・・70%

㊦「ゲームや通信機器の家庭の約束を守っている。」・・・86%

㊦「あなたのお子さんは、ゲーム機器や通信機器の家庭の約束を守っている。」・・・70%

- ・早寝・早起きの項目では、昨年より若干下回った。習い事や生活様式の変化も要因として考えられる。また、ゲームのきまりなど約束で70%と86%という結果であった。早寝早起きを含めて、保護者と協力して家庭でもきまりを守るということを大切にすることを育めるようにしたい。

② 体力の向上

- ・今年の1校1プランは「もっともっとみんなで体力のばしましょう！」として体育や特別活動の中でスポーツに親しむ習慣を身に付けた。今年の重点は、長座体前屈・立ち幅跳びであった。
- ・10月末にマリントウン陸上競技場を主会場にして校内持久走大会を開催する。

(2) 今後の取組

- ・日常の体育科において、弱点である柔軟性や跳躍力の向上を図る。
- ・高い持久力を維持するために、継続して持久走の取組をする。
- ・スポチャレ強化月間を設定し、学級ぐるみで取り組み、他校と競い合い等、より意欲を高める。
- ・SNS機器などネットに関する情報提供や利用の決まりを守るよう児童へも保護者へも周知する。

5 地域との連携

(1) 成果と課題

① 地域の教育力を生かした教育の推進

- ・2年生の野菜栽培、4年生の米作り、三夜おどり、音楽クラブ（お琴体験）など、地域の方々の協力を頂いて日常味わえないことを体験することができた。

② 学校安全の推進

- ・校舎内及び学校周辺の安全確保のため、校舎内の施設については、月に1度安全点検を行っている。PTAや地域の方の協力により、登校時の安全指導も行っている。
- ・PTA主催により交通安全教室を実施し、児童の安全な歩行及び自転車の乗り方について指導した。

③ 学校情報の発信

- ・学校だよりの発行とホームページのタイムリーな更新により、学校の様子を随時お知らせしている。

(2) 今後の取組

- ・様々な手段で情報発信して、連携を大切にしていく。
- ・日頃から保護者や地域の方々とのパートナーシップを築くことに心がけていく。